

元気な丹後

京都府丹後広域振興局

ニュース 第2号

〒627-8570 京丹後市峰山町丹波855 ☎0772-62-4300 FAX 0772-62-5894 ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/tango/>



昨年11月にポスト国文祭として開催された「ご当地グルメ祭&丹後あじわいの郷月例祭」。月例祭は京都府地域力再生プロジェクトの支援を受け、丹後あじわいの郷協力会により毎月第3日曜日に開催。



【国民文化祭・京都2011】シルクファッションフェスティバル(京丹後市)



イノシシや鹿の肉を用いたジビエ料理。新しい丹後の食文化として地域内外に発信。

食と文化の融合 丹後・食の王国【食と文化の祭典】 今秋開催

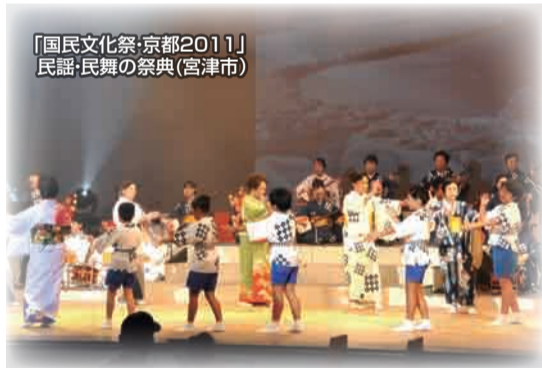
「丹後・食の王国」プロジェクトを進める丹後地域。昨年秋に開催し、若い世代が力を発揮し、丹後の次代の担い手が育つ手応えが感じられた国民文化祭。この「食」や「文化」を地域の宝として、さまざまな活動をこれからも展開していきます。



【国民文化祭・京都2011】与謝蕪村顕彰「俳句大会」(与謝野町)



【国民文化祭・京都2011】民話の祭典(伊根町)



【国民文化祭・京都2011】民謡・民舞の祭典(宮津市)

丹後といえばおいしいものを食べに行くところ ～「丹後あじわい食」発掘・発信事業～ 「春の丹後ばらずし月間」



4月15日まで
開催中

「丹後あじわい食」とは、良質で豊富な食や地域に伝わる郷土食のこと。代表選手の「丹後ばらずし」を地域内外でPRするために、「ばらずしで丹後をつなぐ会」が飲食店の方などにより結成され、「春の丹後ばらずし月間」を開催。期間中配布される「丹後ばらずしまップ」を手にお店巡りをしませんか?おいしさとお得なサービスで一挙両得!

問 丹後あじわい食を進める会事務局(地域づくり推進室)
☎0772-62-4316 FAX0772-62-4333

見事特A返り咲き

丹後産コシヒカリ

丹後・食の王国のイチ押し食材「丹後産コシヒカリ」。この度、平成23年産米が(財)日本穀物検定協会による食味ランキングで2年ぶり9回目の最高評価「特A」を獲得。生産者の努力が実ったおいしいお米は丹後の自慢です。

問 農林商工部 企画調整室
☎0772-62-4315 FAX0772-62-4333
丹後農業改良普及センター
☎0772-62-4308 FAX0772-62-5894

京都
丹後
食の王国
とは?

「明日の京都」丹後地域振興計画(2・3面をご覧ください)に基づき、丹後の宝の一つである「食」をテーマに、特色ある食材の増強、新たな食材の開発や食関連ビジネスの創出などにより、丹後の食のブランド化・高付加価値化を図り、食関連産業の集積を目指しています。

「明日の京都」丹後地域振興計画

新丹後活動プラン

地域の皆様と協働して
「元気な丹後」づくりを進めていきます!

産業振興による 丹後地域の活性化

丹後・食の王国を担う農業を元気に!
「中核新規就農者倍増事業」
「明日の『京都村』づくり事業」
「野生鳥獣被害総合対策事業」

丹後地域の主要産業・農業を今後一層強化するために、①就農希望者の相談・技術習得・地域定着のワンストップ支援、②農家民宿や農村レストランなどに組み込む集落(民宿村、ぐるめ村)支援を実施。③野生鳥獣被害防止対策でも集落全体を取り囲む耐久型防護柵を地域一体で設置する取り組みを継続支援。担い手確保や集落の維持・発展で丹後・食の王国の根幹を確かなものにしていきます。



鹿やイノシシなどの野生鳥獣による被害から耕地を守るため、集落周辺にみんなで防護柵を設置

- ①中核新規就農者倍増事業 24年度予算 4億3,100万円
- ②明日の「京都村」づくり事業 同上 2,000万円
- ③野生鳥獣被害総合対策事業 同上 4億1,400万円

農林商工部企画調整室
☎0772-62-4315 FAX0772-62-4333

観光で丹後地域の活性化を牽引 「京都舞鶴港日本海側拠点機能推進」 「TANTANロングライド」開催支援事業」 「NHK大河ドラマ連携事業」など

これまで丹後広域観光キャンペーン協議会などによりさまざまな観光誘客事業を展開してきましたが、24年度はさらにパワーアップ。地元の高校や観光関連の大学と連携したツアー企画のほか、①首都圏からの誘客強化、②京都舞鶴港への環日本海クルーズ誘致、③初開催のサイクリングイベント「TANTANロングライド」参加者へのおもてなし、④NHK大河ドラマの誘致活動などを推進します。

- ①丹後広域誘客推進事業 24年度予算 2,800万円
- ②京都舞鶴港日本海側拠点機能推進 同上 1億5,900万円
- ③「TANTANロングライド」開催支援事業 同上 200万円

京都うみ・やま・さと TANTANロングライド
参加者募集中 TANTANロングライド 検索

- ④NHK大河ドラマ連携事業 同上 300万円



京都舞鶴港に寄港した日本を代表する豪華客船・飛鳥II。今後は海外からのクルーズ誘致も推進

商工労働観光室 ☎0772-62-4304 FAX0772-62-4333

環境と文化の伝承

豊かな自然の保護・育成や地域文化の伝承を促進

地域の皆様と一緒に取り組んでいます ～天橋立保全・阿蘇海環境改善～



24年11月に京都で開催される「世界遺産条約採択40周年記念最終会合」。この機会に京都の文化・観光資源などを世界に発信するとともに、天橋立などの世界遺産登録を推進。天橋立や隣接する阿蘇海の保全活動を地域の皆様と協働で進めていきます。(24年度予算 2,600万円)

第37回クリーンはしだて1人1坪大作戦 ～美しいふるさと天橋立を子供たちに残しましょう!～

「クリーンはしだて1人1坪大作戦」は、ふるさとの財産である日本三景「天橋立」を守り続ける取り組みとして毎年開催。今回も多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：4月8日(日)8時30分～10時30分
集合：《文珠側》小天橋広場 《府中側》府中船越
※軍手・熊手などの清掃用具は持参。できるだけ公共交通機関でご参加ください。車の場合は、天橋立市営駐車場・籠神社駐車場が作業時間内に限り無料で利用可。

実行委員会(社)天橋立観光協会 ☎0772-22-8030 FAX0772-22-8710



昨年は2,000人近くが参加

阿蘇海のアマモ場復活に向けて

水質浄化や幼魚の保育場として有用なアマモ。海洋センターでは、昨年12月に地元漁業者や海洋高校の生徒と協力し、種まきマットを製作し、阿蘇海に設置。1月の潜水調査でこのマット由来のアマモの発芽が確認され、今後、定期的に生長、生残を追跡し、アマモ場の復活を目指します。

農林水産技術センター海洋センター ☎0772-25-0129 FAX0772-25-1532



種まきマットの製作
マットから発芽したアマモ

府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり

人々が交流・連携する地域共生
地域力再生・NPOとの協働、命の里の再生とふるさと保全活動など

より快適・安全に KTR日本一プロジェクト推進

「花の鉄道づくり」などで皆様に親しまれ利用者増加を目指す北近畿タンゴ鉄道(KTR)。24年度は、より快適・安全に運行するため、空調設備や内外装など車両をリニューアル。また、テレビやラジオなどのメディアと連携しKTRや沿線の魅力をPRする活動も推進。山陰海岸ジオパークをKTRサイクリングツアーで巡るツアー企画なども予定しています。(24年度予算 1億2,500万円)



人気アニメのラッピング列車も好評(23年度)

企画振興室 ☎0772-62-4300 FAX0772-62-5894
交通政策課 ☎075-414-4360 FAX075-414-4365

共に育む「命の里」新展開事業

「命の里」とは過疎化・高齢化が進む農山村地域のこと。22年度から府職員を「里の仕事人」に任命し、地域の皆様と維持・再生活動を実施。24年度は複数集落が連携するための組織・人材育成支援といった「再生支援」、住民の安心・安全な暮らしの見守り活動を支援する「見守り支援」、「命の里ビジネス」を促進する「自立支援」を展開していきます。(24年度予算 2億7,200万円)



大学生も「命の里」の維持・再生活動に参加

地域づくり推進室 ☎0772-62-4316 FAX0772-62-4333

府民安心のまちづくり 医師確保対策や高齢者支援体制の構築、 災害に強い安心安全なまちづくりを促進

高齢者の「あんしん社会」を構築 ～京都市域包括ケアの推進～

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「あんしん社会」を築くため、医療・介護・福祉サービスを一体的に提供する地域包括ケア。23年度は、認知症高齢者への対応能力を向上するため、丹後保健所において介護保険事業所と府立医大などの専門機関をインターネットTV会議システムでつなぎ、認知症に関する講義・事例検討を毎月実施。今後も地域包括ケア人材の育成や、特別養護老人ホームなどの介護・福祉基盤の整備、地域包括支援センターの体制強化などを支援し、医療・介護・福祉の連携を強化していきます。(24年度予算 44億3,200万円)



府立医大と丹後保健所を結んで実施した認知症セミナー

丹後保健所 ☎0772-62-0361 FAX0772-62-4368

耐震プラスで安心ぶらす 「住宅耐震化総合支援事業」

地震に強い安心・安全なまちづくりに住宅耐震化は不可欠。昭和56年5月31日以前に着工した旧耐震基準の木造住宅の耐震診断・改修経費の一部を京都府ではお住まいの市町とともに支援。24年度からは耐震性が確実に向上する簡易な改修にも対象を広げます。まずはご相談ください。(24年度予算 1億4,300万円)



提供 防災科学技術研究所 E-ディフェンス

丹後土木事務所建築住宅室 ☎0772-22-2703 FAX0772-22-3250

皆様の提案を形に! 「府民公募型安心・安全整備事業」 24年度も継続

府民の皆様の提案により身近な安心・安全を実現できることとして好評の「府民公募型安心・安全整備事業」。24年度も引き続き実施します。ぜひご活用ください。(24年度予算 33億5,000万円)



通行の安全確保のため、側溝にふたを設置

対象事業：府が管理する道路、河川、建物などで身近な安心・安全につながる小規模改修・修繕
※24年度から「地域主導型公共事業」を新たに実施(予算 3億円)
対象事業：地域のまちづくりや活性化などにつながる府管理施設に関する事業。事業に合せて地域活動などを行うことが条件

総務室 ☎0772-62-4301 FAX0772-62-5894

平成24年度 京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金のお知らせ

京都府では、引き続き24年度も地域力再生プロジェクトに取り組み、地域に暮らす皆さんが協働して自主的に、暮らしやすく魅力的な地域にしようとする活動を応援します!

- 募集期間 【第1回】4月2日(月)～5月31日(木)
【第2回】9月3日(月)～10月1日(月)
- 対象

1 個々の「地域団体(NPO法人、自治会、任意団体等)」で実施する公共的サービス活動
(例) 高齢者や子育て親子などの多世代が集える居場所の運営や地域の歴史や文化的価値を活かした観光案内活動など

京都府	市町村振興協会	事業費が300万円以上の場合、200万円
交付率 1/3	1/3	(京都府100万円+市町村振興協会100万円)
上限額 100万円	100万円	の交付が受けられます。

2 上記のうち、「子育て支援」「共助型福祉」「防災・防犯」「環境保全」「地域美化」のいずれかの活動で、事業費が30万円以内であれば全額交付が可能です。(対象経費の一部に制限があります)

京都府	市町村振興協会	事業費が30万円の場合、京都府20万円+
交付率 2/3	1/3	市町村振興協会10万円の交付が受けられます。
上限額 20万円	10万円	

3 「協議体(5者以上)」で実施する活動

地域課題の解決や新しい価値の創造を目的に、地域団体、企業、行政等が協働して取り組む事業に対し、事業費1,000万円を限度として交付率2/3以内で交付します。
(例) 河川を活用したイベントの開催等(地域普請制度)
・農村地域への定住促進プログラム(広域イノベーション事業)
・観光振興に環境や福祉などの新たな視点を取り込んだ事業(市町村協働事業)

- 応募方法 所定の様式に記入し、事業を実施する地域の市町に提出してください。

※上記以外のメニューもありますので、振興局および市町で配布の募集要項をご覧ください。
申請書等様式は京都府ホームページからダウンロードできます。
詳しくは

- 問い合わせ 企画振興室 ☎0772-62-4300 FAX0772-62-5894
tanshin-ki-kikaku@pref.kyoto.lg.jp
※ 随時、相談を受け付けておりますのでお気軽にご連絡ください。

お知らせ

24年度もご参加ください 「ふるさとミュージアムジュニアクラブ」



今年もえとにちなんだ作品をはじめ
秀作ぞろいでした

丹後の歴史や伝統行事を体験できる「ふるさとミュージアムジュニアクラブ」。昨年12月と1月に3回シリーズで開催した毎年恒例のたこ作りと正月行事では、紙すきからオリジナルの和だこ作り、たこ揚げ大会まで実施。正月行事の会場・旧永島家住宅(府指定文化財)では、餅つき・餅花作りなどを行い、終始にぎやかな声であふれかえっていました。

問 丹後郷土資料館 ☎0772-27-0230 FAX0772-27-0020

丹後織物ルネッサンス事業 ～パリ・京都・東京で出展・販売会～



東京の百貨店での展示販売会
「キモノの郷 京都丹後の職人展」

丹後織物の優れた技術を生かした独自商品開発・販路開拓支援が23年度は大きく開花。仏・パリで開催の世界最大のテキスタイル見本市やクール京都(東京・赤坂)への出展、京都・東京有名百貨店での展示販売などを成功させ、丹後織物のブランド化をさらに進展させました。

問 織物・機械金属振興センター
☎0772-62-7402 FAX0772-62-5240

お客様とお店をつなぐサイト 京都「丹後・食の王国」グルメたんご 新規登録店募集!!



登録するともらえるタブストーリーや
エコはしなどのPRグッズ

魅力ある丹後の地元食材を活用したグルメ情報を発信するサイト「グルメたんご」。あなたのお店を紹介したり、電子クーポンを発行したりしてみませんか?
(平成24年6月分からPR料1,000円/月)

詳しくは

問 丹後広域観光キャンペーン協議会事務局
(商工労働観光室)
☎0772-62-4304 FAX0772-62-4333

「丹後の海の恵みを生かす」 試験研究成果報告会を開催



アカモクの増養殖についての発表。24年度からはバイオ燃料への活用に向けた研究開発も行われます

良質な水産物を府民の皆様に提供するための試験研究・技術開発を行っている海洋センター。最近のアカモクの増養殖、アサリの養殖、サワラの生態、水ガニの保護についての研究成果報告会を2月に開催(参加者250人)。連携機関である京都大学舞鶴水産実験所(ナマコの資源回復)や(独)日本海区水産研究所(アカアマダイの栽培)による発表も行われました。

問 農林水産技術センター-海洋センター
☎0772-25-0129 FAX0772-25-1532

再開近づく“海が見える牧場” 碓高原牧場ふれあい広場



昨年度の猛暑や豪雪で傷んだ牧草地や柵を再生

碓高原牧場は広い緑の牧草地と彼方に海を望む近畿最大級の牧場。昨年5月の台風2号により災害復旧工事中の道路*や閉鎖中のステーキハウスも初夏には再開見込み。4月下旬からはヒツジやヤギなどの触れ合いができ、7月には満開のラベンダーが見られます。ぜひ、ご来場ください。

*京丹後市弥栄町方面からは通行止め。
同市丹後町および伊根町からはアクセス可

問 農林水産技術センター-畜産センター-碓高原牧場
☎0772-76-1121 FAX0772-76-1123

ご利用ください 「丹後NPOパートナーシップセンター」 ～窓口を振興局に移転し相談日を拡充～

丹後勤労者福祉会館(京丹後市大宮町)内に設置している丹後NPOパートナーシップセンターの相談窓口を4月から丹後広域振興局内(峰山町)に移転。月曜から金曜(年末年始、祝日を除く)の8時30分から17時まで、NPO法人の設立手続きや助成金制度等、地域団体のさまざまな相談をお受けします。お気軽にお立ち寄りください。



問 企画振興室 ☎0772-62-4300 FAX0772-62-5894

読者の声 (第1号に対するご意見の一部をご紹介します)

新しい名前に変わり、イベントなども載っていてぜひ行こうと決めています。項目ごとに色も変わっていて見やすいですね。名前のとおり元気な丹後で私も4人の子育てをがんばりたいと思っています。(与謝野町 Aさん)

ばらずしの写真がおいしそうでも思わずはしを持って食べそうになりました。ばらずしは丹後の郷土料理ですね。とてもおいしいです。KTRの利用促進で工夫されていること、丹後の食材(どこの地方にも負けません!)を生かすことなど分かりやすく書かれていました。たくさんの取り組みを知ることができました。(京丹後市 Mさん)

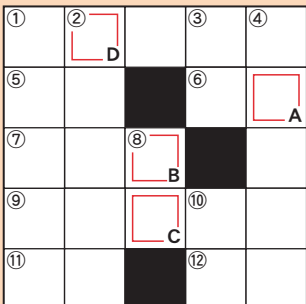
だてのカギ

- ①お隣の兵庫県豊岡市で飼育されています。時には丹後にも飛来します
- ②山陰海岸、○○○○○
- ③雨の日には不可欠。弁当忘れても……
- ④イギリスの都市の名前。ピートルズの生誕地
- ⑤カジンで有名なアメリカの都市は、○○ペガス
- ⑩ふるさとミュージアムジュニアクラブで作りました、揚げました

よこのカギ

- ①特A評価、丹後産○○○○○
- ⑤できると痛い、○○の目
- ⑥代表的な青魚
- ⑦草などが生えた広い平地
- ⑨/パン焼き器
- ⑪海の反対
- ⑫趣味に○○、肩が○○

答え：今年初めて開催、春の丹後A(BC)D月間パズルの中のA~Dの文字を並べて言葉を完成させてください。



クロスワードパズル

はがきクロスワードパズルの答えと郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入し、
〒627-8570(住所不要)
丹後広域振興局
企画振興室クイズ係へ。
「元気な丹後ニュース」へのご意見・感想もお書き添えください。締め切りは4月2日(月)必着。
正解者の中から抽選で15人の方に「京丹後産煎茶・番茶と鳴砂の星(ごんべい)」各1個をプレゼントします。
なお、当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。